

秋田市 中心市街地 活性化プラン

集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。

～城下町ルネサンスの継承～



秋 田 市

令和5年3月策定

(令和6年3月 第1回変更、令和7年3月 第2回変更)

市長あいさつ

「集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。」を目指して

秋田市長 穂積 志

本市の中心市街地は、藩政時代より、政治・経済・商業・文化・教育の中心地として繁栄し、今でも都市の風格を醸し出す本市をイメージする“顔”であり、第14次秋田市総合計画では、コンパクトシティの核、高次都市機能の集積を図る地区と位置づけております。



これまで、「第2期秋田市中心市街地活性化基本計画」に基づき官民一体となった取組が行われてきたところであり、にぎわい創出の中核となるあきた芸術劇場ミルハスや文化創造館、民間マンションの整備などと相まって、居住人口の増加や地価の上昇といった明るい兆しが見え始めています。

一方、回遊性の向上や大規模な低未利用地・空き店舗の解消などの課題も残っており、今後は、こうした課題を検証した上でさらなる活性化とにぎわいの創出を図っていく必要があるため、このたび、令和5年度からの5年間を計画期間とする「秋田市中心市街地活性化プラン」を策定し、鋭意取り組んでいくことといたしました。

本プランでは中心市街地が、にぎわいにあふれ芸術文化と触れあえる集いの場として、あるいは、居住の場、創業の場、まちづくりなどに関する市民活動の場として、様々な場面で今以上に選ばれることを目指し、「集い・楽しみ・住み・創る、選ばれるまち。」を基本コンセプトに設定しました。

基本コンセプトに基づき取組を進めるにあたり、本プランでは5つの目標と取組方針を定め、活性化のための各種事業等を位置づけております。事業等の実施にあたっては、今まで以上に官民が連携することが重要であるため、事業者および市民の皆様には、今後の中心市街地の活性化についてご協力いただくとともに、愛着と誇りを持てる中心市街地を共に築いていきたいと考えております。

結びに、本プランの策定にあたりお力添えをいただいた、秋田市中心市街地活性化協議会の皆様をはじめ、多くの市民の皆様には、心から感謝を申し上げます。

令和5年3月

目次

| | | |
|----------------------|-----------------------------------|----|
| Chapter 01 | 本計画の概要・位置づけ | |
| | 秋田市中心市街地活性化プランとは | 01 |
| Chapter 02 | 中心市街地の現況 | |
| | 統計データから見た整理 | 07 |
| | 市民ニーズから見た整理 | 09 |
| | 第2期計画の目標指標の達成状況から見た整理 | 11 |
| | 中心市街地の現況のまとめ | 26 |
| Chapter 03 | 中心市街地活性化の課題 | 27 |
| Chapter 04 | 中心市街地活性化の基本コンセプト・将来像（イメージ） | |
| | 中心市街地活性化の基本コンセプト | 29 |
| | 中心市街地活性化の将来像（イメージ） | 29 |
| Chapter 05 | 中心市街地活性化の目標 | |
| | 5つの目標設定・目標内容 | 31 |
| | 目標1 人々が集いにぎわうまち | 33 |
| | 目標2 芸術文化が香るまち | 35 |
| | 目標3 暮らしたくなるまち | 37 |
| | 目標4 チャレンジできるまち | 39 |
| | 目標5 市民がつくるまち | 41 |
| | 目標値の算出 | 43 |
| Chapter 06 | 事業リスト | 51 |
| Chapter 07 | 計画の推進にあたって | |
| | 計画の進捗管理 | 53 |
| | フォローアップの実施 | 53 |